

2020 JUL.
vol.75

ゆうがく



新任のご挨拶 —これからの山形学習センターに向けて—

この春から放送大学山形学習センター所長に就任しました安田です。これまで山形大学農学部で「自然の調和の機構」を研究し、田んぼの生き物の調和を活かして、無肥料・無農薬でお米を作る研究等に従事していました。

これからの山形学習センターに向けて、私はこれまでの山形学習センターでの教育を継承し、学生の皆さんの関心ある分野を拡充しつつ、放送大学アクションプラン等を踏まえ、次の3つのことを考えています。

- 1) 地域の文化や高等教育の中心として、多様な皆さんが集う「結縁のセンター」
- 2) 日本と外国の方がともに学び交流する「多文化交流のセンター」
- 3) 二度ない人生を如何に生きるかを学ぶ「人間学の学びのセンター」

「結縁のセンター」は、地域の皆さんに放送大学を紹介し、多くの皆さんが学生として、面接授業等を通じ年齢や職業を忘れて交わる場を提供したいと思います。「多文化交流のセンター」は、日本と外国の方が多様な文化等を相互に学び交流する企画を考えています。「人間学の学びのセンター」は、私が学生有志の皆さんと人間学を学ぶ月刊誌「致知」の読書会を行う予定です。

さらに、客員教員や事務職員の方々と一緒に、学生の皆さんの学習環

境を一層充実させ、満足度の高い学習センターを目指します。また、「所長ブログ」での情報発信(インターネットで「山形SC所長の山桜庵」を検索してください)や、各学期に私と学生の皆さんとの懇談会等を通じた情報及び意見交換も行う予定です。学生の皆さんのご意見やお知恵をいただき、3年間の任期中に新たなことも少しずつ行いたいと思います。よろしくお願いします。

幕末の佐藤一斎先生は、学びの習慣の重要性を、「少くして学べば、壮にして為すことあり。壮にして学べば、老いて衰えず。老いて学べば、死して朽ちず」と述べています。人生100年時代の今、生涯にわたって学び、また学びの習慣を持ち続けることは重要で、楽しみでもあります。

学生の皆さんが、多彩な方々と放送大学で良い「縁」を結び、自を磨いていただければ嬉しく思います。山形学習センターで皆さんとお会いし、一緒に学ぶのを楽しみにしています。

山形学習センター
所長
安田 弘法





令和2年度

山形学習センター客員教員紹介

山形学習センター客員教授
(山形大学学術研究院教授 理学部)
専門:有機化学・分子認識化学

近藤 慎一

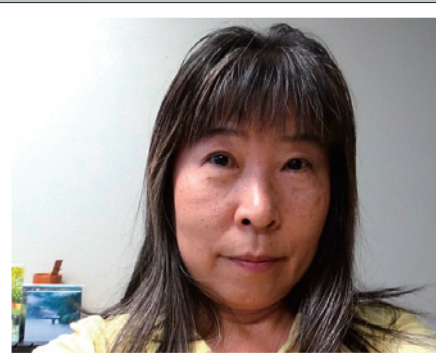
Covid-19に伴う外出自粛等のために、今までと異なる環境で学ばれている事と思います。私も初めての在宅勤務で多くの発見がありました。ピンチはチャンスです。皆様も新たな気づきを生かしてみたいかがででしょうか。



山形学習センター客員教授
(山形大学学術研究院教授 人文社会科学部)
専門:音声学・英語

富田 かおる

勤め始めの頃、放送大学山形学習センター所属の先輩方を前にドキドキしていたのが、ついこの間の様に思えます。通信により学びの喜びや、時には辛いかなという思いを持つ皆さんと同様、人生の大切な一幕をここで刻んでいます。



山形学習センター客員教授
(山形大学学術研究院教授 地域教育文化学部)
専門:古典文学・国語教育

藤田 洋治

初めまして。私は常々好奇心を大切にしています。なぜ?どうして?それが意外な発見だと、ふと得をした気になります。ここでの学びも、ちょっとしたお得感。でも積みもり積もれば、それが大きな財産にもなります。よろしくお願いします。



山形学習センター客員准教授
(山形大学学術研究院准教授 地域教育文化学部)
専門:教育臨床心理学

関口 雄一

私は心理学の中でも、教育臨床心理学という子どもの心理学的支援に関する研究を行っています。放送大学の授業を通して、心理学の方法論に基づいた考え方を学び、ぜひ一緒に子どもの支援について検討していきましょう。



山形学習センター客員准教授
(山形県立保健医療大学准教授)
専門:作業療法学・身体障害領域

千葉 登

今年のピックイベントであった東京オリンピック・パラリンピックが来年に延期になりました。選手の皆さんには来年の開催に向けて頑張ってもらいたいです。

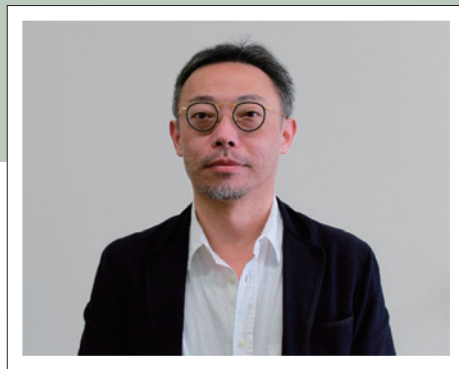
このような状況下ですが皆さんも目標に向けて頑張ってください。微力ながらお手伝いさせていただければと思います。



山形学習センター客員准教授
(山形大学学術研究院准教授 人文社会科学部)
専門:ドイツ文学・比較文化

渡辺 将尚

今から15年ほど前に一度お世話になってから、2度目の登板となります。当時より図書室が非常に充実していると感じました。私も度々図書室に足を運ぶかと思うので、見かけたらどうぞ遠慮なくお声がけください。



学習を進めていくなかで、教材だけではわからない点、不安なところを学習センターの客員の先生に相談したり、指導してもらうことができます。相談してみようかなという方は、お気軽に学習センター事務室までお問い合わせください。

《 学習相談の流れ 》

- ①相談したい先生を決める:先生の専門領域を参考にしてください。
- ②先生の出勤予定を確認する:事務室に問い合わせるか、学習センターのホームページ又は掲示板を見てください。
- ③事務室で学習相談の予約を入れる:窓口で予約票へ記入してください。
- ④学習相談を受ける:学習センターに来て、先生と対面で相談する。

※事務スタッフへのご相談は、随時受け付けております。

お気軽にお声がけください。



学習相談案内



8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

→ 閉室日

< 利用時間 >

7月より変更しています!

期間	曜日等	図書・視聴室・利用時間
7月～未定	火～金	10:30～17:30
	土・日	10:30～16:30

※新型コロナウイルスの影響により、閉室日・利用時間に変更になることがあります。最新情報につきましては、山形学習センターのHPをご覧ください。



< 利用の注意 >

- ① 発熱等体調不良の方は、入室をお控えください
(予め検温を行って、来所してください)。
- ② マスクの着用をお願いします。
- ③ 入口付近に消毒液を設置しますので入室前に手指の消毒をお願いします。
- ④ カウンターで**入室カード**に必要事項を記載し、係員に提出してください。
- ⑤ 利用時間は、3時間以内とさせていただきます(1日1回とします)。
- ⑥ 3密の回避にご協力ください。
 - ◆ 1つの机に一人だけ着席して前後左右の人との距離を保ってください。
 - ◆ DVDプレーヤー、タブレット、学生用パソコンは、係員が指定した機器を使用してください。
- ⑦ 職員によるパソコン操作等の介助については、感染予防のため当面行いませんのでご理解ください。
- ⑧ ヘッドホン、イヤホンを持参してください。

感染予防にご協力ください。





学生証の交付

・学習センター窓口で交付します。入学許可証をお持ちください。

郵送で申し込む場合

以下の資料を同封し、学習センター宛に郵送してください。

- ①任意様式の申請書(学生番号、氏名、住所、生年月日、郵送希望の旨を記載)
 - ②返信用封筒(84円切手＋特定記録郵便160円分の切手を貼付、宛名明記)
 - ③〈2020年度1学期入学者のみ〉入学許可証写しと顔写真付きの身分証明書写し
- ※接触機会を減らすため、郵送申込を積極的に利用してください。

各種証明書の交付

・学習センター窓口で交付します。手数料は1通につき200円です。

・申請用紙に必要事項を記入し、学習センター窓口提出してください。

●在学証明書 ●成績・単位修得証明書 ●履修証明書 ●卒業(見込)証明書 ●修了(見込)証明書 ●在学期間証明書	【諸証明書交付願】に記入 ※英文の証明書や発行数が多い場合は、その日のうちにお渡しできない場合もあります。
●教員免許状申請用単位修得証明書 ●資格関係の単位修得証明書	教職等資格等に関する【諸証明書交付願】に記入 ※発行に2週間程かかりますので、余裕を持って申請してください。

郵送で申し込む場合

以下の資料を同封し、学習センター宛に郵送してください。

- ①諸証明書交付願
- ②手数料(現金書留または郵便定額小為替)
- ③返信用封筒(長形3号:84円切手貼付、宛名明記)

学生旅客運賃割引証(学割証)の交付

・全科履修生、修士全科生、博士全科生が対象です(休学中は不可)。

・購入できる乗車券種類は下記のとおりです(定期券は対象外)。

・申請用紙に必要事項を記入し、学習センター窓口提出してください。

《乗車券種と割引率》

JR	一般普通回数乗車券	11枚綴り、片道区間が200km以内の場合	2割引
	学生割引普通乗車券	片道区間が100kmを超える場合	

《利用が認められる範囲》

- ① 面接授業の受講及び単位認定試験の受験
 - ② 放送教材の再視聴及び図書室の利用(所属センターのみ)
 - ③ オリエンテーション及び学習相談への出席
 - ④ 大学が主催する学校行事への参加(一般参加者を対象とした公開講座は除く)
 - ⑤ 卒業研究または研究指導のために指導教員の指示により旅行する場合
 - ⑥ 大学院生が研究指導のため指導教員の指示により移動または学外における実習を行う場合
- 【⑤、⑥は指導教員が旅行を認めた書類が必要】



以下の表は抜粋ですので、「面接授業時間割表」や放送大学HP掲載のシラバスで、日程・会場・授業内容・持ち物・特記事項等を必ず確認してください。受講の際には、指定された持ち物に加えて筆記用具をお持ちください。

- ・空席のある科目は10/23(予定)～各授業初日の1週間前まで追加登録を行います。ただし、※1の科目は追加登録を行わない、または追加登録可能な日時が限られていますのでご注意ください。
- ・同日開講の科目は一方にしかお申し込みできません。定員を超えた場合は抽選となりますので、定員や希望順位を考慮してお申し込みください。落選した科目は「科目決定登録通知書」には記載されません。
- ・在学生と継続入学生は科目登録期間(8/15～郵送8/30、web8/31)に申請できます。ただし継続入学生はweb申請のみ可能で、放送授業の登録も必要です。新入学、再入学の場合は募集要項をご確認ください。

開講日	科目名	担当講師(敬称略)/所属	定員	備考
10/17・18	戦国時代の歴史と古文書	大喜 直彦/山形大学教授	20	※1
10/24・25	日本建築史	永井 康雄/山形大学教授	23	※1
	レポート・論文の書き方基礎編	下平 裕之/山形大学教授	23	※1、教科書と原稿用紙必要
10/31・11/1	ドイツ美術館紀行	元木 幸一/山形大学名誉教授	23	※1
	武道文化から学ぶ	竹田 隆一/山形大学教授 阿部 弘生/東北文科大学講師	24	※1、山形大学小白川キャンパスで実施、実技あり、学研災加入必要
11/7・8	平安の女流歌人(その1)	藤田 洋治/山形大学教授	23	古語辞典(電子辞典可)必要
	防災と地理学	村山 良之/山形大学大学院教授	23	一部学習センターのPC使用
11/14・15	福祉機器・福祉用具の基礎	千葉 登/ 山形県立保健医療大学准教授	20	山形県立保健医療大学で実施、実技あり、学研災加入必要
11/21・22	様々な病気の原因・対策の理解	富樫 整/ 山形大学保健管理センター所長・教授	23	
	社会心理学入門	森 津太子/放送大学教授	40	
11/28・29	比較文学の基礎－方法と実践	渡辺 将尚/山形大学准教授	23	
	教育臨床心理学	関口 雄一/山形大学准教授	23	
12/5・6	環境と化学	近藤 慎一/山形大学教授	23	
	心理学実験3	藤岡 久美子/山形大学教授	15	学習センターのPC使用、USBメモリ必要
12/12・13	英語の歌で学ぶ英米の文化と社会	鈴木 亨/山形大学教授	23	英和辞典・英英辞典(電子辞典可)必要
12/19・20	レポート・論文の書き方実践編	山本 陽史/山形大学教授	23	一部学習センターのPC使用、原稿用紙必要
1/9・10	植物と菌類の共生関係とその進化	横山 潤/山形大学教授	23	

留意事項

■2020年度第1学期の面接授業は、大変残念ではありますが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国一律閉講となりました。第2学期の面接授業は感染症対策のため、定員を削減して実施する予定ですが、今後の状況によっては日程変更や閉講の可能性もあります。そのため、第2学期に一定の単位修得が必要な方は、放送授業やオンライン授業の履修も併せてご検討ください。



新型コロナウイルス感染の拡大、政府による「緊急事態宣言」などをを受けて山形学習センターでも学位記授与式の中止、センター機能の停止・縮小など学生はじめ関係者の皆様にご不便をおかけしたところです。また、大学全体としても、単位認定試験の在宅実施、面接授業の閉講など学修にも大きな影響があり、様々な対応は今後も続いています。

これまでの状況を今後の参考のためまとめてみました。

① ここまでの山形学習センターの動き

2月26日	学位記授与式・入学者の集いの中止・ サークル活動の中止(第1報対応)
4月9日	閉室(面接授業・学習相談の中止) 事務窓口(電話・メール対応) 通常時間と同じ
4月18日～	事務窓口 短縮 10:00～15:00
6月2日～	図書・視聴室利用再開 10:30～15:30 学生控室・講義室は 閉鎖継続
6月30日～	全施設の利用再開(時間短縮・一部使用制限)

② 面接授業の代替措置の概要

第1学期の面接授業は全学で中止になりました。

学生の中には、今期の単位取得をもって卒業となる方もおり、その救済を図るため、専任教員を中心に代替措置をとることとなりました。

具体的には、以下の3パターンでの授業が急遽開講されました。

- (1) ZOOM(オンライン会議システム)を活用したもの
- (2) オンデマンド式の講義配信を活用したもの
- (3) 1と2を併用したもの

いずれも、一定の容量がかかるネットワーク環境が求められるものです。

全部で80科目開講され 総定員5千人超でした。

この代替措置については、第1学期に既に面接授業をとっていた学生に限定して実施されました。

③ 単位認定試験について

第1学期の単位認定試験は、予定された日程を若干変更し7月14日から21日の8日間、在宅受験方式で答案を本部に郵送する形式で実施されました。

試験問題の配布は、

- ①WEBによるもの
 - ②コンビニでのネットプリントによるもの
 - ③予め学生が返信用レターパックを学習センターに送付し返信を受けるもの
- の3パターンとなりました。

安田所長の『ワクワク情報の小窓』



本号から私の『ワクワク情報の小窓』を連載します。『小窓』を訪問いただき、気軽にお付き合いいただければ嬉しいです。この『小窓』では、学生の皆さんと一緒に山形学習センター（山形SC）で行う新たな企画の紹介や、それらの現状及び進捗などをお知らせし、情報を共有したいと思います。今年度は、以下のようなことを考えています。

1. 「所長と学生の皆さんとお話会」の開催について

本来は、センターでの日常活動を通じ、多くの学生の皆さんと学生生活などに関する色々な情報交換をしたいのですが、昨今のコロナ禍でそれもままなりません。そこで新たに「所長と学生の皆さんとお話会」を開催し、これからの山形SCのことや、学習環境のことなど日ごろ考えていることについて意見を交換したいと思います。3密を避けるため参加者が多い場合は、複数回の開催も考えています。参加希望の方は、私宛のメール（h-yasuda@ouj.ac.jp；件名は、「お話会」）や山形SC窓口にご連絡ください。多くの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。

第1回 日時：9月10日（木）、14:00～15:00、場所：講義室

2. 月刊誌「致知」を通じた人間学の読書会について

2学期から学生の有志の皆さんと人間学の月刊誌「致知」（<https://www.chichi.co.jp/>）を読み、生き方について考える「読書会」を計画しています。毎月1回、1時間程度、事前にお届けした致知の記事に関する意見を交換し、記事から学び、さらに参加者がお互いに学ぶ機会を作りたいと考えています。詳細は、ブログ「山形SC所長の山桜庵」などで紹介します。

3. 「山形SC学びのサロン（仮称）」について

大学では、学友の皆さんとのゼミを通じた相互の学びも重要に思います。山形SCでは、富田先生の「英語ゼミ」がありますが、このようなゼミを少しずつ増やしたいと考えています。ゼミという名は、固いイメージがありますので、自由な雰囲気の中で相互に学ぶ視点から「山形SC学びのサロン（仮称）」として、多彩な皆さんが年齢や職業を忘れた学びや語りの場を作りたいと思います。次回の「ゆうがく76号」もしくは、前述のブログで具体的な紹介をします。

4. サークル活動について

大学生活でサークル活動は、色々な出会いも含めてとても有意義に思います。現在、山形SCでは、2つのサークルがあります。是非、学生の皆さんが有志と一緒に色々なサークルを立ち上げて、学生生活を楽しんでいただければ嬉しいです。サークル立ち上げを考えておられる方がいましたら、必要に応じて私の处にも相談に来てください。

5. その他

色々な悩み事がありましたら、何時でも私の处に相談に来てください。一緒に考えたいと思います。

センターからのお知らせ

山形学習センターは、COVID-19感染予防のための「新しい生活様式」のもと、利用時間や利用方法等これまでと異なるルールで運営しております。今まで通りの利用ができず、不便な点も出てまいります。ご理解いただき、学生の皆様と一緒に新たなセンターを作ってまいります。

当面の利用時間

図書・視聴室	10:30～17:30（土日は16:30）
講義室101教室	10:30～17:30（土日は16:30）（事前に利用申込をしてください）
学生控室	10:30～17:30（土日は16:30）

※全館飲食禁止となります

すべてのお問合せ・資料請求・お申込みは

▶ インターネットでも出願や資料請求（無料）ができます！ www.ouj.ac.jp

放送大学

検索

〒990-8580 山形市城南町1-1-1 霞城セントラル10階

放送大学山形学習センター

TEL 023-646-8836 FAX 023-646-8838

E-mail yng-sc@ouj.ac.jp

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamagata/>

